
転生してガンダムの世界へ！

スネーク

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

転生してガンダムの世界へ！

【Nコード】

N8285Y

【作者名】

スネーク

【あらすじ】

俺の名前は神崎 裕哉って言うんだ。

俺は自分の部屋で寝た筈なのに神様の部下の手違いで俺は殺されてしまった。

しかし、神様がそのお詫びに転生させてくれるって言うてきたからガンダムSEED DESTINYの世界に転生させて貰いました、

勿論凄くチートにして貰ったからとりあえず生き残れるだろうから
安心だな

転生してガンダムの世界へ始まるぜ!!

プロローグ（前書き）

初めて書くので温かく見守ってくれたら嬉しいです。

プロローグ

プロローグ

裕哉 side

俺の名前は、神崎 裕哉って言うんだ。
俺は確か自分の部屋で寝た筈なのに
目を覚ましたら知らない真っ白な空間にいたんだ！
何を言っているのか分からないかも知らないが
俺の方が意味が分からないんだ！！

裕哉「とりあえず、そこらへんを捜さその必要は無いですよ。」
うおー！！びっくりした！！」

？「そんなに驚かなくても（汗）」

裕哉「いや、普通は驚くからな！？」
「そう言えばお前は誰だ？」

？「私ですか？」
「私はあなた達の世界で言う神です。」

裕哉「神ってあの神ですか！？」
神「どの神かは知りませんが
その神で合ってると思います。」

裕哉「へえ。で、神様がこんな平凡な俺に何か用かよ。」

「てか、此処何処だよ。」

神「此処は天国と地獄の狭間です。」

裕哉「天国と地獄の狭間って俺は死んだのか!？」

神「はいあなたが寝た後に車が家に突っ込んで来てその下敷きになり死にました。」

裕哉「まじかよ!？」

「俺はまだ15歳だぞ!!」

人生の半分すら生きてねえんだぞ!!」

「なのに死んだとか最悪だわ。」

俺がへこんでいると、

神「しかしですね、その事故であなたはですね、」

何故か神が言いすらそうにしていた。

裕哉「まさかだと思うがその死が手違いで死んだとかだったら怒るからね（笑）」

神「す、すみません!!」「私の部下があなたの命の灯火を間違つて消してしまったので死んだんです!!」

ちよつと待てーーーー!!!

イレギュラーで死んだとかだったら許すけどさ!？部下の失敗で死んだとか最悪じゃねーか!!

裕哉「ちよつとその部下呼んでこいやー!!」

「一発殴らねーと俺の気がおさまらねえー!!」

神「それは無理です。」「あなたを殺した私の部下はもうすでに重い罰を与えたので。」

「それで許してくれませんか？」

裕哉「それなら良いぜ!!」

神「良かったです。許してもらえて。」

裕哉「で、此処に呼んだ理由は、何なんだよ。」

神「此処に呼んだ理由はですね

そのお詫びに違う世界で第2の人生を楽しんで貰おうかと思ひまして。」

「勿論何処の世界に行きたいとか決めてもらって結構ですよ。」

行きたい世界ねえ。

よし!

じゃあ、此処にしよう!

裕哉「行く世界はガンダムSEED DESTINYの世界で!!」

神「ガンダムSEED DESTINYの世界ですねか？」

「分かりました。」

「次に能力は、何にしますか?一応20個までならいけますか?」

裕哉「そんなにももらえるんですか!」

神「はい、此方の手違いでしたので。」

裕哉「じゃあ、まず一個目は俺を純粹種のイノベーターとニュータイプにしてくれ。」「二個目はSEED覚醒が出来るようにしてくれ。」

「三個目はオリジナルのMSとオリジナルの戦艦をくれ。」

「四個目はオリジナルのGNドライブを50個とオリジナルの大型GNドライブを50個と疑似GNドライブを100個」

「五個目は木星にヴェーダとGNドライブ製造工場をくれ、それと工場の働いている者は全員ロボットにしてくれ。」

「七個目は全ガンダムシリーズの設計図をくれ。」

「八個目は操縦技術はキラよりも強くしてくれ。」

「九個目は専用の基地を2つくれ1つはコロニーでコロニーに着ける武装やら性能やらは任せる2つ目はアクシズでこっちも全て任せる。」

「十個目はマクロスFからゴーストV-9を200機ぐらいくれコロニーとアクシズに100機ずつ乗せるから。」

「十一個目はマユとトールとニコルとミゲルとナタルとアサギとジユリとマユラとハルバート提督を生き返らせてくれ。」

「十二個目はステラとアウルとスティングを元からこっちの勢力に入れといてくれ。」

神「分かりましたが、最後のは何故ですか？」

裕哉「あいつ等には死んで欲しくないから。」

神「それだけですか？」

裕哉「ああ、これだけで良いぜ。」

神「転生の年月はいつにしますか？」

一応すぐに原作を開始の日にしようとすれば出来ますか？」

裕哉「いや、一年前で頼む。」

そっちの方が戦力とかが分かるから。」

神「分かりました。では送りますがいいですか？」

裕哉「はい、良いぜ。」

神「では、第2の人生を楽しんで来てください。」

そう言われ俺の意識は落ちた。

神様 side

神「さあ、特典を彼に送りますか。」

そう言って用意を始めましたが
大変な失敗をしていました
性別を間違って女性にしまっていました。

神「裕哉さんに何て説明しましょうか。」

神様 side out

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8285y/>

転生してガンダムの世界へ！

2011年11月24日18時45分発行